

休 日 曜 大 祭 日
日 曜 大 祭 日
月 曜 大 祭 日
火 曜 大 祭 日
水 曜 大 祭 日
木 曜 大 祭 日
金 曜 大 祭 日
土 曜 大 祭 日
日 曜 大 祭 日

前年より五千圓減少

平町の教育費新豫算

第二、三校に學級増加しても
賞與半減と第三の設備費減で

平町では明年度の教育費豫算の合計千八百四十四圓を増加す
昇に關して廿三日學務委員の協議では
曾を開いた同會の協議では
六年度に於て第二、第三兩
校に各一學級宛を増加する
具理由は左記學級收容の

現状と 新入學數に

基づくもので之れに對する
經費も後記の如く學級を増
加しても前年に比し五千圓
四圓を減少するもの、如く
總體に於て此

數字を 見るは第三

小學校の設備費が減じたの
と職員の手末賞與を半減さ
れた結果であつて總經費七
萬四千五百五十五圓(五年度
七萬九千八百八十九圓)に對
する

國庫補助 助二萬七千

三百卅一圓兒童總數は尋生
三五四〇、高生四〇〇學級
は尋五七、高八〇計六十五
學級生徒一人當り經費十八
圓になつてゐる更に商業學
校は

經常に 於て七百五

十五圓臨時部で三百廿九圓

助役二名を置く

種々な弊害がある
一ヶ月に滿たぬ遠藤氏の
病養に彼此云ふのは無情

平町助役遠藤長誠氏が本月とする意志はなく且つ新豫
算の編成に當つて俄か造り
中であるが同助役の病氣の
助役に何等の効果なしと
され居る模様であつて同助
役の病氣に就き左記の如く
語つた

編成を 控ふる補充

助役の病氣は經過頗る良
好であるから來月上旬に
は出勤されるであらう假
りに夫れ迄に出られな
かつたとしても出勤が二
月で半減給、三ヶ月で全
減の規程もあり一月に
も満たない病養に對して
彼此云ふことは だ前の

實際を 眺めてるの

此際二名の助役を置かう

街頭實話

ナンセンス(七)

大學を出た許りの、ホヤ
の工學士、まだ産婦
にある初産の妻君を郷里
に殘して北海道のある旅
坑に赴任した。四月五
月と過ぎて北海道の雪も
解けたので、嫁女を伴
つて送つて遣らねばなる
まいと親類縁者寄りの
相談してたが、嫁女の腹
が段々大きくなつて來た
のに氣がついた。産婆に
診て貰つたら妊娠五ヶ月
に相違ないと云はれたの
で、親類縁者大驚き、幾
度か相談の結果離縁する
ことに決定して、その旨
北海道の伴に通知した。
この通知に接した工學士
びつくり仰天して早速郵
便局にかけつけて母親に
宛て打電した。電文に曰
く「オホアツリエンス
ルナイサイフミ(終)

危険極まる

ダイナマイト
をかくまう男

右城郡内郷村の磐城炭礦高
取坑々夫同部湯本町の湯本
字補渡生れ鈴木龜次郎(三)
は去る廿三日午前八時頃同
坑二斜坑に作業の際必
のダイナマイトを忘れて同
様の星某から譲られたダイ
ナマイト五本雷管五個の中
の使用後と人坑の折に火薬
係主任から支給されたる導

女子青年團の

總集會

來二十六日
第三方面の
石城郡の聯合女子青年團
三方部總集會は來る廿六日
午前十時から平町の活動常
設館に於て開催されるが
同會には生命の泉社主幹二
瓶一次先生の講演を午前中
なす由

相變らず賑やかな

平町今日の初町會

次年度豫算の參考として
當年の實行に様々な質問

既報平町會は廿四日午後一
時から同町會議室に開會さ
れた議案は左記の如く地事
の提案は名の如き初町會
に過ぎないものであつたが
論議の多い

不執行

な項目が幾
つあるか又は町税未納の
増とされて歸郷した

同町會

は相變らず

水道消火

取扱練習

平町新川町
の青年團で
平町新川町青年團の中に
火防組合員になつてゐる
の十三名あるが同團では
廿五日午後一時から團長
谷喜太郎氏外團員廿七名
午前十時から平町の活動常
設館に於て消火取扱の練習
同會には生命の泉社主幹二
瓶一次先生の講演を午前中
なす由

飛び出

汚たない

不良少年
花柳街の便
所を覗く者

平町新田町その他の花柳
町方面に數日來夜陰に乗
て便所のぞきをするきた
不良少年があるのが藝妓
屋及び飲食店その他一般
人にも嫌がられてるが平
町では斯うした變態的な
者が誰であるか嚴重なる
取締の一方に於て當人の
檢舉に盡してゐる

面白からうが

危ないぞ
日頃盛んな學
生のスケート

惠まれる

水戸市生れ
の失業の男

中署の人事相談所に去廿三
日旅途の費用に困つて救助
を願出た卅五六才の男が
あり係員が次第を尋ねると
同人は水戸市下市臺町生れ
齊藤才吉と稱し昭和三年一
月から岩手縣釜石町に於て
石工を働いてゐたが昨年十
一月作業中怪死したので失
業に陥り歸郷中のもので判
業に陥り歸郷中のもので判
業に陥り歸郷中のもので判

後今

婦人に望む

吉田利吉
平商業學校校長

幼稚であり時間制度も普
及されてゐないから殊に地
方に於ては尚ほ男子が家庭
的の餘裕を有つてゐるけれ
ども大都市に於ては種々の
従來の如く狭い家庭の内に
止まることは最早一般社會
が要求されつゝある
婦人は家庭の日用品の購
買から家庭の活動の擴張
が許さぬこととなりつゝあ
る考へたり成は錢金のこと
と廣さをかへねばならぬ
の就學貯金の出入等從來
の男子によつて處理されて

然るに少なくとも經濟的
の考へ方へは
餘り時代と離れて薄々
なものであるまいか、
濟と云ふ言葉の意味を唯
考へたり成は錢金のこと
と廣さをかへねばならぬ
の就學貯金の出入等從來
の男子によつて處理されて

の就學貯金の出入等從來
の男子によつて處理されて

の就學貯金の出入等從來
の男子によつて處理されて

の就學貯金の出入等從來
の男子によつて處理されて

の就學貯金の出入等從來
の男子によつて處理されて

の就學貯金の出入等從來
の男子によつて處理されて

の就學貯金の出入等從來
の男子によつて處理されて

自治の意義 (四)

R. Y. 生

地方自治の制度を設け、理由は、これにある、けれども如何に自治と云つても、府縣市町村の仕事の全部を委す、と云ふのでなく、國家自ら是非行はねばならぬこと、國家として是非統一を圖らねばならぬことは勿論で、國家自ら行ふべきである。

我が國に自治制度が設けられたのは明治廿一年であるから、今日まで四十年を経過してゐるけれども、其の內容を考へると、何事でも少部幹部に委せ、市町村役場でする仕事を、恰も他人の仕事の様に考へ、冷淡無關心にして例へば清潔法施行に當つても、警察官の立會を要する形は甚だ幼稚と云はねばならぬ。

國民は近來中央政府の仕事に就いては相當に注意を拂ふ様であるけれども、地方自治の仕事も、現在では中央政府の仕事と金額の上に於て匹敵する位となり、其の國民の日常生活と直接に關係することが極めて深いのであるから、國民一般が今少しく地方自治に注意を向け、理解を有たねばならぬ以上述べたところを更にちよめて申せば、府縣市町村が國家から許された範圍内に於て、國家の監督を受けて公共事業を遂行することである以下、市町村に就いて説明する。

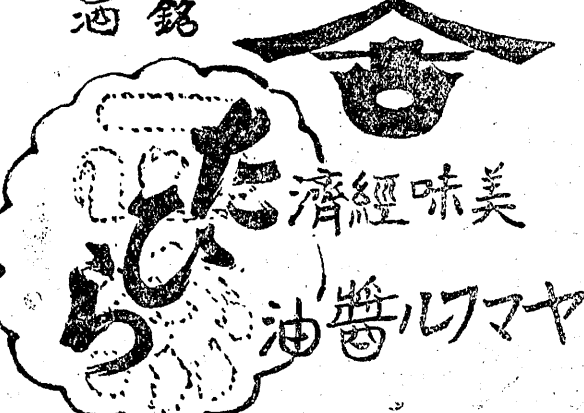
スペイン G.H.N 元詰
甘味葡萄酒
ゴルフポートワイン
¥ 1.10
御婦人の方には少し水を加へて召し上るさ風味一そう佳良です
(二平) 西村屋薬舗 (電三)

平町
藤沼醫院
電話七〇五番

街客様音の良品廉賣
冬物入荷 荷澤山
伊関吳服店

磐城平町
彫判 玉章堂
三丁目元郡役所通

磐城平町 表代城磐 酒銘



美味味 經濟 美 油醬のママ
山崎合名社
電話十番

痔 療 散

チに悩める方へ
最近の發見薬を勵む

世に於て、スヒート化し然かも児とき皮肉の存在餘り、運々たる痔疾の効顯、並に本平町的進出せる痔療散其の卓効本速的快癒眞に神の如く將に留める者への福音、迷はずて速に試みられ、其の事實を。

一度の實驗は百回より確證に證明されん
新進にして一躍痔療界の覇者
明治醫學專門學校教授
田中豊彦先生創製の「痔療散」

定價 二日分 九拾錢
一週間分 貳圓
二週間分 參圓八拾錢

私達の恩師母校の教授田中先生多年苦心せる研究痔療散の代理店を開始す切に御試驗を乞ふ

平町五丁目角
平町代理店 山野邊藥局
藥劑師 山野邊 東次郎

平町田町通電話六五六番



玉章堂

冬のサロン
暖房装置完備しました
暖かい御飲物
暖かい御料理
そして芳醇のカクテルを
洋食通の季節になりました
ドーゾ 御来店を

サ ロ ン
田町 電三五二番

煙突は 朝日
石綿セメント製
朝日煙突
絶対に ぜい太い!!
やけ太い!!
くさらない!!
経済的で 火災の心配が太い

金屋商店

模範 裁縫
高島屋の洋服
平町驛前 電話三八六番

既製部
オーバー 五圓から
卅圓まで
二重廻し 七圓以上

注文部は各種破格の勉強

磐城 共濟 病院案内

本院は時局に鑑み入院料並に往診料左の通り低廉致候御参考迄申上候

入院料 一般 金貳圓也
一日 本會員金壹圓五十錢

往診料 院長及其他の博士に限り、一般金三圓也
平町本會員金二圓也

尙地方往診も之に準じ低廉致候間此段申添候也

各科 専門醫 擔當

内科 小兒科 産婦 人科 女子泌尿科
外科 皮膚泌尿科 整形外科 耳鼻咽喉科

× 光線科 (物理學的診療科)
院長 醫學博士 難波 睦
本院主管 賀澤 忠治
本院(本病) 救療を申込る、方は當院(院内) 相談所へ御話し下さい

看護婦 募集
磐城共濟會 (磐城平町) 電話六四一(番)

ライント 寫眞館
平町藪小路
電話五三五番

